

英国金融政策（2026年3月）

市場予想通り政策金利を3.75%に据え置き

2026年3月23日

利上げへの強いメッセージも、状況を慎重に見極める必要

BOE（イングランド銀行）は3月18日（現地、以下同じ）に終了したMPC（金融政策委員会）で、市場予想通り政策金利を3.75%に据え置くことを決定し、19日に発表しました。前回2月は5対4の票決で据え置きを決定し、声明文で政策金利の見通しについて「更に引き下げられる」へと表現を強めたこともあり、当社は3月の追加利下げを想定していました。しかし、結果は据え置き、しかも全会一致の決定でした。市場も2月のMPC直後は年内2回弱の利下げを織り込んでいましたが、今回のMPC後の20日には逆に年内3回強の利上げを織り込み、英国の10年国債利回りは一時5%を上回って昨年初来の最高を記録しました。

状況が一変したのは、言うまでもなく、中東情勢の悪化に伴うエネルギー価格の高騰が要因です。これまでインフレ率は低下傾向にあり、BOEは2月の見通しで、現在3%台のインフレ率が今年の4-6月期には2.1%へ急低下し、その後予測期間末の2029年1-3月期までを通じて2%近傍で安定するとしていましたが、今回、今後数四半期は3~3.5%で推移するとの見通しに改めました。

BOEは金融政策で供給ショックを反転させることはできないとしつつも、賃上げや値上げなど、二次的影響でのインフレ圧力の高まりを警戒し、「必要に応じて行動する」との利上げへの強いメッセージを發しました。一方で、今回のショックは景気が潜在成長率を下回る需要不足の中で生じた点にも言及しています。事態は極めて流動的であり、中東情勢とそれが景気に及ぼす影響を慎重に見極める必要があります。

英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。